

意見交換
テ ー マ

子どものネット依存症対策について

1 趣旨

健康や学業に支障をきたす「インターネット依存」の若者が増加している。ネット依存症の定義は定まっていないものの、平成25年8月の厚生労働省の研究班の調査によると、全国で推計約51万8千人（男子6%、女子10%）の中高生が、ネット依存症の疑いが強いことが判明した。しかし、ネット依存の専門外来のある医療機関は少ない状況にある。

ネット依存症の疑いがある中高生は、男子はオンラインゲーム、女子はチャットやメールなどに依存する傾向がある、との指摘がある。

これらインターネット利用の問題は、地域を超えた広域的な課題である。

国は、平成31年度までに児童・生徒一人1台の情報端末の導入を目指すなど教育のICT化を進めており、若者のネット依存への対策は重要度を増している。

また、スマートフォン等の急速な普及によりネットいじめは潜在化しており、平成25年6月には「いじめ防止対策推進法」が制定され、地方公共団体や教育委員会及び学校に対し、「インターネットを通じたいじめに対する対策の推進」が求められている。

2 提案

小学生、中学生、高校生を対象とした「ネット依存症対策」について、実態把握を含む共同研究や、ネット依存から子どもを守るための効果的な取組の検討を提案する。